



▲タチウオの強い引き込みがたまらない

当日のタチウオジグングタックル

Tackle Guide

リーダーの先端に50センチほど太いリーダーを結びシステムもあるが、オマツリしたときに道糸が結び目に絡まるとほどぎにくく、道糸も傷むため、40ポンド2メートルにしている。

の練習が必要になりそう。右トモ2番の方や左ミヨシの鹿島一郎さんはジグングで60〜80センチ級のタチウオをキャッチ。鹿島さんによると浅場のジグングは、できるだけ長くタチウオの泳層を引くためにバチカルではなく、斜めに引いてくるのがコツ。釣り方は100グラム以下のジグをアンダーハンドでキャストし、着底したらただ巻きもしくはワンピッチジャークで誘うとのこと。

やや深場は追わせて食わず

全員がタチウオを釣り上げたところで走水沖へ移動。「水深62メートル。反応は上

から35〜45メートルです。120〜130グラムのジグを使ってみてください」とのアナウンスで再開。船長に釣り方を教わると、「ジグは軽く前方へ振り込む感じで投入し、フォール中はサミングしながらラインの動きをよく見ておいてください。着底前に糸がフケたり、ジグの落下が止まったら、タチウオがジグの周囲にいたり、食い付いている可能性が高いので、スプールを押さえて竿を立て、素早くリールのハンドルを回して合わせを入れて巻き上げましょう。フォールでアタリがないままジグが指示ダナの下限まで到達したら、シャクリを入れながら巻き上げます。シャクリは60〜80センチ幅で竿を1回上下させるごとにリールのハンドルを1回転させるワンピッチジャークが基本です。竿先を下げてリアグリップを脇に挟むと楽にシャクリることが出来ますよ」とアドバイスしてくれた。聞いていううちに簡単に釣れそうな気がしてきたので、船長の話を忘れないうちにあとで試してみることに決める。

左ミヨシの鹿島さんは竿先を下げて右手と左手をリズムから5〜15メートル上まで反応があります」との合図で開始。いきなり竿を曲げたのは右トモの庄司さん。慎重にやりとりして船長が差し出すタモに収まったタチウオは当日最大となる116センチ。さらに次投でも1メートルオーバー。ヒットパターンを見つけたようので良型を連発する。「どちらも底上30メートルで食ってきました。これまでの経験から大型でやる気のあるタチウオはジグを追いかけて食ってくる傾向があるので、指示ダナの上限からさらに15メートル上まで探りました」と庄司さん。これを聞いたら試さずにはいられない。庄司さんが狙った底上15〜30メートルで先ほどの船長の釣り方

●船宿information
東京湾奥木更津港
宮川丸
☎0438-23-4891
(詳細は巻末の情報欄参照)

▶料金=ルアー・タチウオ予約乗合
一人9000円、女性・中学生以下7000円、氷別
▶備考=7時出船。土日祝日のみ出船

を実践してみるとこれが効果てきめんですぐにヒット、強い引き込みがきた。続いて急にテンションが抜けたように軽くなったので、糸がたるんでフックが外れないよう魚の重みを感じるまでガンガン巻き上げる。銀色の魚体が浮上し、リーダーをつかんで巻き上げたのは1メートルオーバーのタチウオ。これを釣り上げたところでは14時の沖揚がり。釣果は64〜116センチのタチウオを一人2〜14本。私は105センチ、指幅5本級を1本だが、このサイズなら家族2人で食べるには十分だ。船長によると富津沖も走水沖も魚影が濃く反応はバッチリとのこと。数と型の両狙いでまだまだ楽しめそう。



▲東京湾のルアー・タチウオは数も型も楽しめる

富津の浅場や走水沖など広範囲に反応があり、好調に釣れている東京湾のタチウオ。ワンピッチジャークで巻き上げてドン！リールのクラッチを切りフォールでゴン！ジグにアタックしてくるタチウオの派手なバイトを味わいたくて、8月中旬、東京湾奥木更津港の宮川丸へ向かった。

ルアー船の釣り方はジグングがメインだが、この3本はいずれもワインド釣法によるもの。庄司さんに釣り方を聞くと、「スピニングタックルと、28グラム前後のヘッドを付けたソフトルアーを使い。釣りはルアーをキャストし、着底したら5回シャクってダートさせて底上5メートルまで探り、フォールで再着底。これを船下まで繰り返します。タチウオはダートするルアーを追いかけてフォール時に食ってきます」ソフトルアーをダートさせるにはシャクリ幅や強さなど



▲ワインド釣法で1メートル級をキャッチ

旬の沖釣りをエンジョイ!

今がチャンス!
これから楽しみ!

釣りどきレポート

Best Season Report

今回は初心者もたっぷり引きを楽しめる9月前半の優良ターゲットをピックアップ。アフターフィッシングは鮮度抜群の釣魚料理を楽しんでくださいね!

初挑戦でツ抜け達成も! 東京湾のルアー・タチ大盛況

◎東京湾奥木更津港発→富津→走水沖
本誌編集部/近田 憲男 Norio Chikuda

●船長に聞きました
おススメのジグは?

「メタルジグはフォールと巻き上げのどちらでもよく釣れる。センターバランスと呼ばれる重心が中央付近にあるタイプがおススメです。重さは富津沖では60〜100グラムと比較的軽めのもの、走水沖では120グラムをメインに速潮時には150グラム前後を使います。色はオールラウンドに使えと言われるピンク、定番の赤金、食い渋りに効果とされるパープルが人気です」

船宿でもルアーを販売している